

# H30 妙高西条農園たより

NO. 4

平成30年7月23日 (7月号)

先月号でもふれましたが、6月中に関東では梅雨明けし、7月に入ってすぐに中国、四国方面では記録的な大雨が降り大災害が発生し、猛暑の中毎日ボランティアの助けを借りての、災害復興に向けてのニュースが気になるところです。新潟でも、関東には遅れましたが、7月上旬に梅雨明けし連日30℃を超える暑い日が続いています。

元々稲は東南アジア原産で、暑さには適した作物とされてきましたが、現在栽培されているコシヒカリ等は日本の気候にあったように品種改良されているため、あまり暑い日が続くと、品質等に影響が出るのではないかと、心配されているところです。

そんな状況もあり、6月17日から溝きりをし中干しを行って来ましたが、今年は例年より1週間ほど早め7月9日に中干しを終了し、水入れを再開しました。

今年の畔道アートは**MINERARUMAI**です。草丈がまだ揃わないので、来月以降が見頃です??...



2018/07/17

水入れ再開に当たっては、締め切っていた圃場の水入れ口の水門口を一気に開け大量の水を入れ、短時間で圃場全体に水を行き渡らせるようにすることから、この機会を利用し、3年前から試験を行ってきた31,6アールの圃場2枚に植物の活性化肥料である、宮崎みどり製薬(株)製造のウットンバイオスター100倍液を水口から点滴投入しました。この肥料は天然スギの蒸煮液、木酢液等の天然物のみを原材料とした特殊肥料であることから、当農園では、収量の増より、味の向上に期待し試験を続けています。

特殊肥料の**ウットンバイオスター**100倍液を水口から点滴投入している状況です



2018/07/09



2018/07/09



2018/07/09

前述しましたように、気温が高い日が続いていることから、定点観測箇所の生育状況でも、稲丈が70cmと例年より5~10cmほど生育が進んでいる事から、穂肥も10日ほど早めて散布しました。圃場の水取り入れ口付近に例年生育する雑草(ヒエ、ホタルイ、セリ、クサネム等)については、除草剤を使わず、特殊な刈り払い刃を付けた刈り払い機を使用し、駆除しました。

定点観測 (稲丈約70cm)

穂肥の散布状況

圃場内の雑草刈り払い

稲を痛めない刈り払い刃



2018/07/09



2018/07/09



2018/07/09



2018/07/09

秋の**稲刈り体験ツアー**について日程が決まりましたのでお知らせします。

今回は土日曜の休日で実施しますので  
予め日程調整をされ、お子様、お孫様  
同伴での参加も歓迎です。

日時：平成30年9月29(土)~30(日)  
工程：29日午後稲刈り、ハサかけ体験  
30日妙高高原観光ツアー  
宿泊：赤倉温泉 香嶽楼



先月号でお知らせしました、**ツバメも巣立て**行きました

発行者：〒944-0023 新潟県妙高市西条755  
妙高西条農園長 池田博子  
☎ 0255-72-3497 fax 0255-72-2908  
URL：http://www.kanta.jp E-mail：ikedata@kanta.jp